

平成22年度認定拠点一覧

大学・研究施設名	共同利用・共同研究拠点名	代表者	研究分野	認定期間	共同利用・共同研究拠点の概要
東北大学 電子光物理学研究センター	電子光物理学研究拠点	清水 肇	原子核物理学 加速器科学 物質科学	H23.4.1 ～ H28.3.31	本センターに設置された電子加速器から得られる様々なエネルギーの電子・光子ビームを全国の研究者による共同利用・共同研究に供し、原子核物理学、加速器科学、物質科学等の物質諸階層の基礎と応用の研究を推進する。 新たな電子光ビームの開発を通じて、未踏研究分野の開拓及び新研究領域の創造を目指すとともに、関連の分野における研究者、技術者等の養成を行い、我が国の電子光物理学諸分野での学術研究の発展に寄与する。
金沢大学 がん進展制御研究所	がんの転移・薬剤耐性に関わる先導的共同研究拠点	向田 直史	腫瘍学	H23.4.1 ～ H28.3.31	がんの悪性進展過程と総称されている転移・薬剤耐性の克服を目的として、本研究が保有しているヒトがん組織バンクやマウス発がんモデル組織バンク等を活用した共同利用・共同研究を推進する。 がんの悪性進展過程に密接に関与している、がん幹細胞・がん微小環境を切り口にした、転移・薬剤耐性の分子機構の解明から治療法の開発までの一貫した研究の遂行と、関連する研究を担う若手研究者の育成を推進し、もってがんの治療成績の向上に貢献する。
京都大学 エネルギー理工学研究所	ゼロエミッションエネルギー研究拠点	尾形 幸生	エネルギー科学	H23.4.1 ～ H28.3.31	二酸化炭素を大気中に排出せず環境調和性の高いゼロエミッションエネルギーの研究拠点として多様なエネルギー分野の融合的基礎研究を主導し、学術研究の発展とそれを担う研究者の教育・養成を通じて、国際的な課題であるエネルギー・環境・資源問題の解決に取り組むことを目的とする。 標準試料や最新技術情報の提供も行うこと、ならびに多様なエネルギー関連分野の研究者による複合学理基盤により、萌芽的・先端的ゼロエミッションエネルギーの育成と発展に貢献する。
京都大学 野生動物研究センター	絶滅の危機に瀕する野生動物(大型哺乳類等)の保全に関する研究拠点	伊谷 原一	野生動物学	H23.4.1 ～ H28.3.31	日本で唯一の野生動物保全研究の拠点として、絶滅の危機に瀕する野生動物の保全に関する学際的・領域横断的研究を通じて、人間とそれ以外の生命の共存に貢献することを目的とする。 地域動物園・水族館との協力による生息域以外の保全研究を行うことで、野生動物の保全と飼育管理に関する研究の飛躍的な発展に貢献する。 共同研究を通じて研究者間や学術と社会との交流を進めるとともに、関連研究を担う人材の育成に貢献する。